

自由科目(特設)

展開科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8050001	TSUKUBAポスト・コロナ学	1	1.0	1-4	春C	火1,2	1H101	秋山 肇, 池田 真利子, 大村 美保, 佐々木 銀河, 谷口 綾子, Magnier-Watanabe Remy, 堀愛, 山田 実	2020年、世界各国が新型コロナの深刻な影響を受ける中、筑波大学では「『知』活用プログラム」として27件の研究プロジェクトが実施されました。同プログラムにはウイルス学、医学・生物学、健康科学、数理科学、情報学、教育学、社会心理学、社会政策学、法学、経済学、芸術学等のプロジェクトが採択され、総合大学である筑波大学の多様な知が結集しています。これらの多様な知は、新型コロナ影響を受けた今後の社会を検討する際に、重要な視点を提供しています。オムニバス形式で開講される本科目は、6の系に所属する研究者が実施している新型コロナの影響に関する最先端の研究成果を学生と共有し、ポスト・コロナの科学・学問・社会の在り方について学際的な視点で考える機会を提供します。 The University of Tsukuba launched the "Employing the University Wisdom to Fight against the COVID-19 Crisis" programme to deal with COVID-19 in 2020, and the programme adopted twenty-seven projects. Projects include virology, medicine, biology, health science, mathematical science, informatics, education, social psychology, social policy, economics, and arts. These diverse areas indicate the wideness of the research at the University of Tsukuba. Scholars from six faculties share their knowledge based on the projects to encourage students to acquire interdisciplinary perspectives to think about science and society in the post-COVID-19 era.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面 授業を録画して配信することがあります。 2021年度開講 「TSUKUBA新型コロナ社会学」と同一。
8050011	ポスト・アントロポセン	1	1.0	1-4	春C	火3,4	1C210	秋山 肇, 浦山 俊一, 江口 真規, 鈴木 研悟, 豊福 雅典, 萩原 大祐, 平井 悠介, 山本 容子	人間は地球に過度な負荷をかけており、アントロポセンと呼ばれる新たな地質年代が始まったと言われています。その結果、環境問題が深刻化し、人間は生存の危機に直面しています。アントロポセン時代の先にある社会像、科学技術のあり方を検討するために、人文社会系、生命環境系、人間系、システム情報系の教員が中心となって、「チームポスト・アントロポセン」を立ち上げました。本科目は、アントロポセンの課題を克服したポスト・アントロポセンの実現に向けて行っている議論・活動の経過を共有し、2050年やそれ以降の社会像、科学技術の役割について議論します。 Human makes a significant negative impact on the Earth, and a geological age called Anthropocene began. As a result, the environmental issues become severe, and human survival is at risk. Members of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Faculty of Life and Environmental Sciences, Faculty of Human Sciences and Faculty of Engineering, Information and Systems established a "Team Post-Anthropocene" to think about the society and the role of science and technology after the Anthropocene. This course shares the Team Post-Anthropocene progress to overcome issues related to the Anthropocene and discuss visions and the role of technology in and after 2050.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面 授業担当者により実施形態が異なる可能性があります。
8060102	学際的社会科学演習	2	3.0	1-4	春AB秋AB秋C	木5,6集中	3A415	田中 洋子	これからの社会のあり方を考えていくために、少人数で文献を読みながら議論していく演習。私たちはグローバル化・デジタル化が進む中、生活や働き方、経済や環境の変化という大きな構造変動の中にいる。この歴史的転換について社会科学の基盤を学際的に学びつつ、今後の社会が進むべき方向について、様々な視点を持つ全学の学生が意見をかわしながら考えていく。集中的に文献を読む、自分が考えたことを話してみる、お互いの意見を聞いて考える、という基礎的な演習に加え、いろいろな人に話を聞きに行く、現場を体験しに行くなど、様々な形でのフィールドワークや企画・発信を通して、一人一人の実力をあげていく。	学年・学類を問わない、少人数ゼミ。文献講読・議論だけでなく、フィールドワーク・学園祭企画などを参加者の希望に沿って行っていく。意欲的にゼミに参加したい人を募集。 対面 火曜の5限以降をあけておくことが望ましい。
8090401	ニューロサイエンスへの誘い	1	1.0	2-3	春C	集中		綾部 早穂, 山田 一夫	ニューロサイエンスの基本的概念を解説し、ヒトの心と行動を理解するための研究の手法と成果について概説する。ニューロサイエンス学位プログラム(大学院博士前期・後期課程)を担当する、医学系、人間系及び産総研に所属する10名の教員によるオムニバス形式で実施する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8100102	障害学生支援技術	2	1.0	1-3	通年	随時		佐々木 銀河, 左藤 敦子, 竹田 一則, 名川 勝, 小林 秀之, 末吉 彩香	最初の全体オリエンテーションでは、障害学生および支援学生にも参加してもらい、本学における障害学生支援のしくみと視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害、発達障害等のニーズに関する実際の支援内容について説明する。その後、各支援技術別に実施する講義・演習等の授業を受講する。具体的には、印刷物のテキストデータ化、パソコン要約筆記、ノートテイク、学習・コミュニケーション支援技術等の習得を目指す。なお、本授業を受講した後はピア・チューターとして実際の支援活動に従事することができる。	本授業は、全体オリエンテーションに加えて、(1)ニーズ別の支援内容に関する講義、(2)各支援技術の演習の2つを受講することで単位を認定する。受講者は、全体オリエンテーションに必ず出席すること(4月下旬ごろ実施予定)。日程の詳細はmanaba等にて通知する。講義・演習について、受講希望者多数で定員を超えた場合には、人数制限をすることがある。詳細後日周知。実務経験教員、対面(オンライン併用型)
8100404	手話コミュニケーションI(入門・基礎)	4	1.0	1-2	春C	集中		竹田 一則, 左藤 敦子, 末吉 彩香	きこえること、きこえないことを意識して考えられるように説明する。その上で聴覚障害者が言語とする手話の日常会話程度が習得できるように演習をおこなう。	詳細後日周知。対面
8100504	手話コミュニケーションII(応用・実践)	4	1.0	1-2	秋B	集中		竹田 一則, 左藤 敦子, 末吉 彩香	手話コミュニケーションI(入門・基礎)で学んだ知識、習得した手話を基に、支援できる知識が深められるように講義をし、通常会話ができる手話の習得ができるように演習をおこなう。	詳細後日周知。対面
8200303	つくばロボットコンテスト2023	3	1.0	1-3	春A 春BC 秋ABC	火6 集中 月6	3L202	Hassan Modar, 上原 皓, 矢野 博明, 山海 嘉之, 相山 康道, 望山 洋, 伊達 央, 土井 裕人	数人(3名以上5名以下)でグループを作り、自分達の創意により与えられた課題を実現する知能ロボットシステムのメカニズム、制御系およびソフトウェアを設計・製作する。この設計・製作の成果発表は公開コンテストにおいて競技形式で行われる。この授業はロボット製作を通じて各々の技術分野の重要性を感じてもらおうことを目的としている。経験や予備知識は必要ないが、ロボット製作への興味と意気込みは不可欠である。	つくばロボットコンテスト'93~'22履修者も履修可。ただし、3単位までとする。対面(オンライン併用型)希望者多数で定員を超えた場合は人数制限をすることがあります。
8202104	コンテンツ表現工学	4	1.0	1-3	秋AB	金4	3L504	星野 准一, 星野 聖, 若槻 尚斗, 宇津呂 武仁, 鈴木 健嗣, 延原 肇	コンテンツ表現の基礎を学ぶとともに、コンテンツ工学技術(リアルタイムCG, VR, IoT, メカトロニクス, 機械学習, 自然言語処理, ウェブ検索サービスなど)を利用した独自のコンテンツの企画・設計とプレゼンテーションを体験します。工学, 医学, 芸術・デザイン, ビジネスなどの異種分野の協働による多視点的な問題設定・解決を重視します。	8202003 コンテンツ表現工学の単位を修得した学生は履修不可。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。対面(オンライン併用型)
8204004	巨大プロジェクトエンジニア入門	4	1.0	1-2	春C 夏季休業中	木3 集中	3A402	松田 昭博, 嶋津 龍弥, 橋口 友洋, 金子 暁子	巨大プロジェクトのエンジニアになるために必要な専門知識やコミュニケーションスキルなどの能力について学び、エンジニアとしてのキャリアパスについて考察する。実際に産業界などで活躍するエンジニアを招き、巨大プロジェクトに関わるやりがいや苦労についてリアルな事例を提供する。後半は、構造・流体に関するコンピュータソフトウェアを用いたワークショップを行い、将来必要となるスキルについて考える。	実務経験教員 全回の授業を対面で実施する。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。
8310201	スポーツが変われば、大学が変わる	1	1.0	1-4	秋AB	水6	1H101	高木 英樹	現在筑波大学アスレチックデパートメントが取り組んでいる大学スポーツ改革・筑波大学のブランディング・大学スポーツを通じた地域貢献活動について経緯や今後の展開について当事者である学生の興味関心を高め、大学スポーツがいかに学生生活に影響していくのか理解を得ることを目的とする。	アスレチックデパートメント開設 対面
8310305	スポーツボランティア講座	5	1.0	1-4	春AB 夏季休業中 秋C	集中	5C216	平岡 拓晃	講義により、スポーツ大会ほかイベント、日常でのスポーツに関するボランティアとして活躍するために必要な知識について学ぶ。また、障害に関する理解を深め障害者への適切な支援に関する知識を得る。その後、参加するボランティア計画書を提出し、少なくとも5日(講義1.25時間、実習30時間以上 合計30時間)以上のボランティア活動に従事し、最後にレポート提出による報告、振り返りを行うことで、広い視野と国際性、協働性・主体性・自律性を身に付ける。	事前指導日時 対面の場合 1回目5月16日(火)1~2 限2回目5月25日(木)1~2限 (どちらかに参加が条件。) 状況によりオンラインでの実施になった場合 1回目5月18日(木)1~2 限2回目5月25日(木)1~2限 (どちらかに参加が条件。) 各自、計画書作成、スポーツボランティア活動を実践 9月28日(木)又は1月16日(金) レポート 講評会 ※出席可能なように必ず出席すること 対面
8320302	創造学群表現学類—OBOG指導によるクリエイティブ体験講座	2	2.0	3-4	春C秋A	随時	6A208	原 忠信	「筑波大学」を社会に発信するためのコミュニケーションを言語、デザイン、音楽、身体等の表現を通じて考え、クリエイティブワークを総合的、体験的に学習する。	実施時期等は掲示にて周知する。希望者多数の場合、人数制限をすることがある 実務経験教員、対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8330524	囲碁で培う思考力	4	2.0	1 - 4	秋AB	水3, 4	3A403, 3B402	白川 直樹, 前田 良二, 八森 正泰, 鈴木 研悟	最初に囲碁のルールを理解した後、実戦例をもとに囲碁の考え方、進め方、形勢判断方法などを学ぶ。さらに演習として実際に対局し、その評価を通じて様々な考える力を培う。囲碁の歴史と文化なども概観する	原則として囲碁を知らない者を対象とする。履修希望者が40名を超える場合は人数制限を行う。受講者選抜はオンライン・オンデマンド方式にて実施する（manaba使用）。受講者選抜を行うため、履修登録期限が早いことに注意（詳細はシラバスを参照のこと）。 対面

キャリア形成科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8050111	ジェンダーとグローバル共生	1	1.0	1 - 4					本科目では、個人が当該社会での社会化を通していかに身体管理を行い、他者と共生しながらキャリア、ライフスタイルを構築していくのかについて学ぶ。少子化・高齢化・生産能力人口が急激に減少する現代では、過去のように男性は仕事、女性は家族の世話というジェンダー役割が見直されているが、当該社会の影響を受けている。他方、IT化、グローバル化の進展に伴いグローバル、グローバルな現実社会の影響を受けて生きざるをえない。従って、今後のキャリア、生き方の構築に参考になるように、1) ジェンダー、グローバル・グローバル共生をキーワードに、比較社会・文化論の視点からテキストに準じて講義を行う。2) また、各方面の企業人、社会人の講師を招聘し、実践的な知見を提供する。	2023年度開講せず。 テキスト 黄順姫、2019、『身体文化・メディア・象徴的権力：化粧とファッションの社会学』学文社
8320404	ダイバーシティとジェンダー/セクシュアリティ	4	1.0	1	春季休業中	集中		河野 禎之, 土井 裕人	産業構造が急速に変化し、人々の生活文化、家族のあり方や社会が変容する中、多様な属性の人々の存在とともに、我々の生き方も多様性に満ちていることが明らかとなっている。そこにある個人や個人をとりまく人間関係、組織や地域社会では、どのような問題が生じているのか。本授業では、「人の多様性」のうち、特に「ジェンダー」及び「セクシュアリティ」を切り口として、近年注目されている「ダイバーシティ&インクルージョン」や「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン」という概念について、その本質と実体について学ぶ。そのために、実践家の講師による話題提供とともに質疑応答や対話を重ね、より広い視野と柔軟な発想の獲得を目指しながら、受講生個人の生きる力、社会力を身につけることにつなげる	授業は日本語で行う（レポートは英語可） オンライン（同時双方向型） 開講日は2024年2月17日（土）と18日（日）を予定（変更の可能性あり。確定次第、シラバスを更新予定）。授業中は匿名で参加可。詳細についてはManabaにて周知する
8320504	起業家のための経営・知財必須知識	4	1.0	1 - 4	秋AB	集中	3B405	尾内 敏彦, 五十嵐 浩也	起業に興味を持ちそのために必要となる知識を身につけたい学生が、ベンチャービジネス、知的財産とその戦略、マーケティング、経営とファイナンスなどの実践的な実学を、ベンチャー企業のライフサイクルに合わせて演習を含めて学習する。スタートアップのリスク低減に必須な知識を中心とするが、企業で事業推進するときにも役立つ知識である。	令和元年度までの「次世代起業家養成のための経営・知財必須知識」に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。オンライン授業（ライブ、オンデマンド併用、状況によっては対面の可能性あり）。 10/4, 18, 11/15, 12/13 実務経験教員。対面（オンライン併用型）
8321101	筑波クリエイティブ・キャンブ・ベーシックアントレプレナー入門講座—	1	1.0	1 - 4	春AB	集中	ILC101-103	尾内 敏彦, 五十嵐 浩也, 尾崎 典明	起業に関心のある受講者に対して、実際に起業に携わった経営者陣が、様々な経験に基づく講義を行う。学生によるアイデアを主な対象として、メンタリング等によりビジネスプランのブラッシュアップを図ると共に、起業マインドの醸成と起業のための基本スキルの習得を図る。アントレプレナーシップは、身の回りの問題を自ら発見し解決するための行動に移すマインドセットで、起業家精神ともいわれる。必ずしも起業することを意味するのではなく、自立していくためのキャリア形成にとってすべての人が身に付けるべきものである。本授業では演習を通じてアントレプレナーシップを身につけ、イノベーションを創造できる起業家を養成する。	4/19水4限、4/26水4限、5/10水4限、5/17水4限、5/24水4.5限、6/7水4.5限、6/21水4.5限 4/19, 26, 5/10, 17, 5/24, 6/7, 21 実務経験教員。対面（オンライン併用型） つくば市特定創業支援事業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8321202	筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンス	2	1.0	1-4	秋AB	集中		尾内 敏彦, 五十嵐 浩也, 森川 亮	本格的に起業を目指す受講者に対して、本学出身者を中心とする経営者陣が、起業プランに対するメンタリングを行う。受講者の持つ起業プランを具体化し、筑波大学発ベンチャー設立に向けた支援を行う。	・起業を目指す学生に本学OBを中心とする起業家メンターがスキルを伝授します！ ・最終発表会では受賞者に賞品が授与されます ・高大連携により高校生が聴講参加します ・オンライン授業(ライブ、オンデマンド併用)、対面のグループ活動の設定日の可能性あり 10/4, 11, 25, 12/6, 20 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。実務経験教員、対面(オンライン併用型)つくば市特定創業支援事業

グローバル自由科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8030106	フィリピン英語研修I	6	3.0	1-4	夏季休業中	集中		鈴木 伸隆	夏季休業中を利用して、フィリピン・セブ島での英語学校にて英語研修を行う。主に英語を少しでも話せるようになるためのスピーキング力を強化する。	授業形態は未定
8030206	フィリピン英語研修II	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆	春季休業中を利用して、フィリピン・セブ島での英語学校にて英語研修を行う。主に英語を少しでも話せるようになるためのスピーキング力を強化する。	授業形態は未定
8030306	海外英語研修I-a	6	3.0	1-4	春C夏季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8030406	海外英語研修I-b	6	3.0	1-4	夏季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8030506	海外英語研修I-c	6	3.0	1-4	夏季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8030606	海外英語研修II-a	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8030706	海外英語研修II-b	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8030806	海外英語研修II-c	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定
8042104	海外武者修行	4	1.0	2-4	通年	応談		大倉 浩	海外の大学・企業等において、自らの企画により交流・研修活動等を行い、大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。積極性と企画力・実行力の向上及び自立性の向上を図るとともに、現地の学生グループなどと交流・研修活動を行うことにより、武者修行による教育効果を期待する。	「はばたけ 筑大生!海外武者修行支援プログラム」の募集要項に従い、活動後に履修手続きを取ること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8070307	国際パートナーシップ研修(中南米)	7	2.0	1-4	通年	応談			本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目の一つとして開講するものである。 約3週間の双方の短期研修を利用し、事前研修の後、研修の実施国において、 1語学研修、 2当該国や日本の社会や文化に対する相互理解、 3学生の専門に応じた専門研修、 4現地企業や関連機関等でのインターンシップ、 5研修の仕上げとしてのレポート提出と提携校の学生を交えた報告会(協働演習)から構成される。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員及び学生からの報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに報告会における発表等表等に基づき、授業担当教員が行う。	メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校での実施を予定 G科目、対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8070406	国際パートナーシップ協働演習(中南米)	6	2.0	2-4	通年	応談			本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目として開講するものである。 双方の指導教員の指導の下に、 1提携校での留学期間を利用したフィールドワーク、 2留学先学生との協働研究、 3報告書に基づき、留学経験者を交えた研究発表と討議から成る。 日本と中南米双方の開発課題とグローバル課題を共有し、留学の体験と学修、現地調査の成果として、その課題解決に向けた実践的討議を主な内容とするものである。 交換留学のタイミングにもよるが、最後の研究発表と討議は、本学での受け入れ留学生との合同での実施により協働教育の実を高めることとする。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員からの報告及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。	「筑波トランスパシフィックプログラム」生として派遣及び受け入れられている学生で、受け入れ教員の指導のもとに実施。終了時に報告会を行う。 G科目、対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8200006	アフリカ・オンライン・フィールドスタディA	6	1.0	1-4	春学期	随時		山本 亨輔	アフリカ各国で活躍する起業家を講師として、講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し、その課題の解決方法を探索する。学生はリモートで接続するので、直接、現地に留学すること無く、海外でのフィールド・スタディを体験できる。本講義を通じて、受講生は、国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し、必要な知識・経験を理解できる。	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 オンライン(オンデマンド型)
8200016	アフリカ・オンライン・フィールドスタディA	6	1.0	1-4	秋学期	随時		山本 亨輔	アフリカ各国で活躍する起業家を講師として、講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し、その課題の解決方法を探索する。学生はリモートで接続するので、直接、現地に留学すること無く、海外でのフィールド・スタディを体験できる。本講義を通じて、受講生は、国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し、必要な知識・経験を理解できる。	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 対面 時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。
8290107	国際パートナーシップ研修(東南アジア)	7	2.0	1-4	夏季休業中	集中		森川 一也、牛島 由理	本授業科目は、日本において準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出	全学自由科目(特設)、 本学および国際基督教大学の学生に限る 8/11-9/30 詳細後日周知、対面
8310005	海外先進大学スポーツマネジメント研修	5	1.0	1-4	春季休業中	集中		高木 英樹	アスレチックデパートメントが開催している自由科目の「スポーツが変われば、大学が変わる」の実習授業として開講するものです。 約一週間の滞在の中で大学スポーツが大学や地域にもたらす意義や筑波大学が目指す大学スポーツの世界観について訪問先の大学スタッフ・教員からの以下の内容について講義を受講します。 1. 現文化に触れる 2. 遠くスポーツ観戦における大学スポーツの価値の理解 3. 現アメリカの大学スポーツ局による大学スポーツマネジメントの実態(サービス、エコシステム、地域連携など)の英語による講義 4. 訪問先大学の学生との交流(ディスカッションやイベント参加)	対面
8330206	海外語学研修ドイツ語	6	3.0	2-4					パイロイト大学主催のドイツ語コースに参加することで、ドイツ語教育の専門家による授業を受け、ドイツの日常生活や文化に触れながらドイツ語を学ぶ。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ドイツ、パイロイト大学「外国語としてのドイツ語」学科にて研修。詳細後日、案内掲示あり。 2023年度開講せず。 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8330306	海外語学研修中国語A	6	3.0	2 - 4					夏期休暇中の約3週間の期間を利用し、交流協定校である中国長沙市の湖南大学において、中国語研修を行う。教室で基礎学習をいっつつ、実際の生活の中で中国人及び中国社会にじかに触れながら学び、異文化理解力と語学運用能力を高める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国、湖南大学日本語・文化学部にて研修。春学期に説明会を実施予定(後日、案内掲示あり)。2023年度開講せず。G科目
8330316	海外語学研修中国語B	6	3.0	1 - 4					華東師範大学(中国上海市)で開設される中国語コース(約3週間)において、短期集中型の語学研修を行うと同時に、現地の日系企業における体験学習を実施し、それらを通して語学力を向上させ、異文化理解を深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国上海市、華東師範大学対外漢語学院にて研修。詳細後日、案内掲示あり。2023年度開講せず。G科目
8330406	海外語学研修ロシア語A	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中		加藤 百合	夏期休暇中の3~4週間の期間を利用し、本学の教育学術交流協定大学であるサントペテルブルク大学文学部ロシア言語文化カレッジにおいてロシア語研修を行う。具体的には、授業の場で基礎文法、会話、読解などをバランスよく学習する一方、ロシア本国での実生活という体験学習を通じてロシアの文化や社会、ロシアの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ロシア、サントペテルブルク大学文学部附属ロシア語ロシア文化カレッジにて研修。詳細後日、案内掲示あり。G科目 新型コロナウイルス感染防止のため開講中止
8330416	海外語学研修ロシア語B	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中		臼山 利信, 山本祐規子	夏期休暇中の3~4週間の期間を利用し、キルギス共和国日本人材開発センター(本学の協定校であるキルギス民族大学構内/首都ビシュケク)と本学とが協力・連携し、同センターにおいて、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、現地語であるキルギス語の研修も実施する。キルギス共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びキルギス語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。G科目 新型コロナウイルス感染防止のため開講中止
8330426	海外語学研修ロシア語C	6	3.0	2 - 4	春季休業中	集中		臼山 利信, 山本祐規子	春季休暇中(3月)の3~4週間の期間を利用し、協定大学であるカザフ国立大学(カザフスタン共和国、アルマトイ)と本学とが協力・連携し、同大学において、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、国家語であるカザフ語の研修も実施する。カザフスタン共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びカザフ語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。詳細後日周知。G科目。対面 新型コロナウイルスの状況により中止する場合があります。
8330606	海外語学研修英語A	6	3.0	1 - 4					夏期休暇中の3週間を利用し、英国オックスフォード大学ハートフォードカレッジと本学が協力・連携して実施する英語研修プログラムに参加し、授業や学外研修などを通して英語を実践的に活用しながら目的に応じた効果的なコミュニケーション能力の養成を行う。また、オックスフォードや英国の歴史、社会、文化などについての知識を深めることに加え、現地での生活体験、学生や地域の人々との交流を通じて異文化対応力を身につける。さらには協同の英語プレゼンテーションを通じて課題解決のためのチーム力を養う。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。オックスフォード大学ハートフォード校にて研修。春学期に説明会を実施予定(後日、案内掲示あり)。英語で授業。2023年度開講せず。G科目

日本事情等科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8049911	日本の歴史	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		今井 勇, 山澤 学	日本の歴史について、重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文・文化学群開設)履修は、留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。令和元年度以前に1B26511の単位を既に修得している学生は履修不可。【受講制限数40名】 対面 詳細はmanabaやシラバスを参照のこと。
8049921	日本の生活文化	1	1.0	1・2	秋C	集中	2G205	加藤 晴美	歴史地理学の視点から、近世・近現代の日本におけるさまざまなマナ(都市)・ムラ(村落)の景観と生活およびその変容について検討する。	【人文・文化学群開設】外国人留学生及び帰国生徒に限る。 対面
8149911	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5		角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるのか学修する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球学類開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。 オンライン(オンデマンド型)